

『頭は切らないとダメですか？』

と思っいていませんか??

脳神経外科医長 岡本薫学



脳神経外科手術と聞くと、頭を切つて開かれる、後遺症が残る、症状がよくならない、怖いなどのイメージが強いのではないかと思います。また、医療関係者の方でも脳神経外科ではどんな治療をしているのかあまり詳しくない方も多いです。ここ10年、脳血管内治療(カテーテル治療)の発展により、『頭を切らない治療』が可能となってきました。

脳血管内治療は、脳血管障害(脳梗塞、クモ膜下出血など)を中心として、血管奇形や脳腫瘍、鎖骨下動脈狭窄症などの疾患も治療の対象となります。今回、日常診療で遭遇する可能性が高い、脳梗塞急性期、内頸動脈狭窄症、脳動脈瘤に対する脳血管内治療について御紹介します。

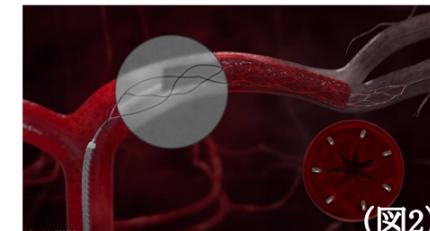
近年、最も目覚ましい進歩を遂げているのが脳梗塞急性期の患者さんに対する血管内治療です。2005年にt-PAが認可されるまでは、脳梗塞患者さんの予後を劇的に改善させる治療法はありませんでした。t-PA治療に続き、2010年脳血栓回収術が日本でも行われるようになってきました。様々な工夫を重ねて、2014年に保険適応となったスアント型の血栓回収器具では再開通率は約7〜8割となりました。このように高い再開通率を得られるようになりましたが、治療の適応となる患者さんは脳梗塞発症から8時間以内と限られています。そのため、脳梗塞が疑われる患者さんは可能な限り発症から早期に受診していただくことが非常に大切です。

治療の方法について簡単ですが、下図を用いて説明します。右大腿動脈からアプローチを行い、直径が約3mmのカテーテルを内頸動脈へ誘導します。その後、直径が1mm未満のマイクロカテーテルを脳の血管へ誘導してきます。マイクロカテーテルが目的の血管(閉塞血管)へ誘導できたら(図1)、ステントを展開して(図2)、ステントに血栓を付着させ回収します(図3)。脳血管の再開通を確認して終了となります。治療時間は約1時間前後です。

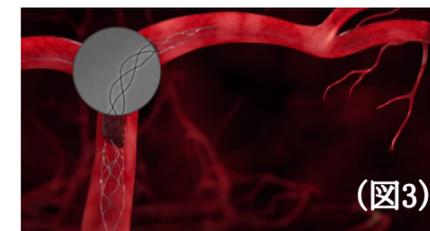
次に、内頸動脈狭窄症に対する血管内治療について御紹介させていただきます。治療の目的は脳梗塞発症の予防です。内頸動脈狭窄症を有する患者さんは脳梗塞発症の可能性が高くなります。特に脳梗塞の既往がある内頸動脈狭窄症患者さんは年間約10%の確率で脳梗塞を再発するというデータがあります。そのため、内頸動脈狭窄症を治療することで患者さんのQOL低下を予防することができます。治療には、遠位塞栓予防デバイス、バルーン、ステントを用います。まず、遠位塞栓予防デバイスとは、動脈硬化により血管壁に溜まったプラークや血栓を脳血管に飛ばさないように予防する道具です(図4)。遠位塞栓予



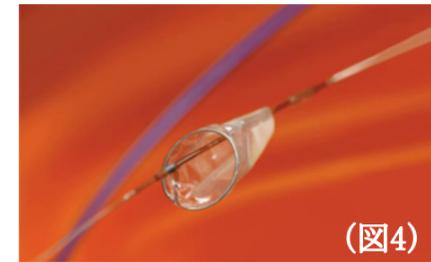
(図1)



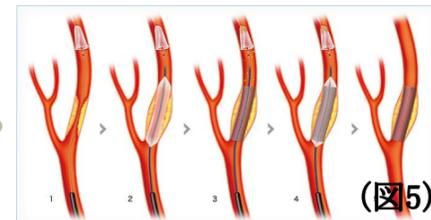
(図2)



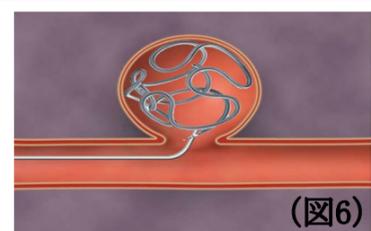
(図3)



(図4)



(図5)



(図6)

手術時間は約1時間程度です。最後に、脳動脈瘤に対する脳血管内治療について御紹介させていただきます。脳動脈瘤は破裂すると、クモ膜下出血を発症すると3人に1人が死亡してしまう重篤な病気です。脳動脈瘤は、大きさ、部位、形により破裂率は様々ですが、一般的に年間破裂率は約1%と報告されています。

治療には、コイルというプラチナ製の金属を用います。まず、マイクロカテーテルを動脈瘤内へ留置します。その後、コイルを動脈瘤内へ詰めていき、動脈瘤内に血流が無くなれば手術は終了です(図6)。手術時間は約3〜4時間かかります。

今回は脳血管障害に対する脳血管内治療について御紹介させて頂きました。今後の日常診療にお役に立てますと幸いです。



周辺図



- 【地下鉄学園都市駅から】山陽バス・神戸市バス 約12分
- 【地下鉄名谷から】山陽バス 約20分
- 【JR垂水駅から】山陽バス・神戸市バス 約20分



〒655-0004
 神戸市垂水区学が丘1丁目21番1号
 TEL: 078-781-7811 (代表)
 FAX: 078-781-1511
 http://www.kobe-ekisaikai.or.jp

【退院支援加算1】の届出が受理されました

当院では入院患者様の退院支援について、今年4月の診療報酬改定より「退院支援加算2」での算定を行っていましたが、9月からは「退院支援加算1」の算定が可能となりました。

ますます高齢化が進む地域社会において、患者様が安心、納得して早期に住み慣れた地域での療養や生活を継続できるよう積極的に医療機関様、施設様との連携を推進して参りますので、これまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

事務部長 小倉与志広

神戸掖済会病院 退院支援室

室長 大鶴 実
看護師長 笹山留美

メディカルソーシャルワーカー 川畑佳祐 所みずえ 福井良江

【連絡先】 TEL 078-781-0836 FAX 078-781-1244

お知らせ

神戸掖済会病院に がん化学療法看護認定看護師が誕生しました

がん化学療法看護認定看護師は、患者様ががんと診断された時から治療が終わり経過観察となる時期までの長期にわたって、患者様とご家族様を支援していきます。

当院の外来化学療法室では主に、胃、大腸、膵臓、肝臓などの消化器がん、乳がんの患者様に対する抗がん剤治療を行っています。予定通りの治療を安全で確実に受けることができるように看護師が近くで観察し、また、ご自宅での出来事や困ったことなどを聞かせて頂いています。リクライニングチェア9台を備えており、患者様にはテレビを見たり、読書をしたり、好みの音楽を聴くなど、リラックスした状態で治療を受けて頂けるように工夫しています。

抗がん剤治療を受けられる方は、いろいろな副作用のことを心配されると思います。例えば、手足に痺れが出やすいお薬がありますが、寒冷刺激で症状が強くなる事があります。これを予防するには寒くなくても手袋を使用することをお勧めしています。また、足にも痺れが出現するため、転ばないようにゆっくり歩くことを意識することが大切です。このように、患者様の日常生活に合わせた方法を一緒に考えていきます。

抗がん剤治療は、難しい薬の名前や種類の薬を組み合わせる事があり、全てを理解して治療を受ける事は難しいと思います。また、体験したことのない出来事が起こったり、先の見通しが立たない事で不安が強くなる事もあると思いますが、患者様や御家族様が理解しやすいように説明を補足したり、気持ちを整理しながら、納得して治療を受ける事が出来るようにサポートしています。

食事についての質問がよくありますが、抗がん剤治療を受けているからといって、何か食べないといけないとか食べてはいけないものはありません。普段通りの食事を心がけてください。そして、頑張った後は好きな食べ物をたくさん食べたり、外食したりと自分へのご褒美をしてください。

患者様は常に頑張られていきます。その頑張りを認めて、一つ一つ色々な出来事を乗り越える事が出来るように、患者様に寄り添い、頼れる存在になれるように努力していきます。外来で患者様の様子を観察していると、医師の前に出ると緊張して話したい事が十分に言えない患者様もおられます。患者様と医師との間に立ち、良好な関係を築けるように橋渡しをしています。そして患者様からの相談にのることができるような環境を、今後つくって行こうと思います。

がん化学療法看護認定看護師 吉村千春

【NST合同研修プログラムを開催して】

神戸掖済会病院では平成17年よりNST(Nutritional Support Team)を運用しています。NSTとは医師、薬剤師、看護師、検査技師、言語聴覚士、管理栄養士からなり、それぞれの専門家の視点で栄養状態の悪い患者様に最適な栄養管理方法について提言していくチームです。

平成22年に静脈経腸栄養学会の「NST稼働施設」「NST認定教育施設」に認定(H27年に更新済)後、医師、薬剤師、看護師、検査技師、言語聴覚士、管理栄養士からの講義や実習とNST回診への参加、症例発表を主な内容として毎年1回、院内・院外含め「NST40時間研修」を実施してきました。毎年院外より5名程度、院内より10名程度が参加しています。H25年からは兵庫NST研究会主催のNST合同研修プログラム(日本静脈経腸栄養学会認定の教育施設が参加、開催している研修)に協力施設として参加し、今年も6月に24時間研修を開催し、院外より5名、院内より11名の方に参加いただきました。この兵庫NST合同研修プログラムは16時間の講義とグループワークで栄養管理の基本を学び、残り24時間を認定教育施設(西神戸医療センター、中央市民病院、神戸大学附属病院、赤穂市民病院、神戸掖済会病院)で分担し実施する内容となっています。この研修はNST加算の施設基準である「所定の研修」に位置づけられており、日本静脈経腸栄養学会認定の「NST専門療法士受験の必須研修」にもなっています。

輸液から経腸栄養、最終的に口から食事が食べられるようになったり、浮腫が軽減し呼吸状態が安定したりとNSTで介入を行う事で患者様の栄養状態が改善し、状態が安定すると治療に専念でき、QOLも向上します。入院期間の短縮にも繋がり早く元の生活に戻れるきっかけになっています。そんなNST活動が入院管理の当然になるよう研修を通して広めていきたいと考えています。今後も定期的に開催していきますので興味のある方は是非ご参加ください。

主任管理栄養士 岡本貴子

【開放型病床利用施設一覧】

平成27年度

ご紹介、ご利用ありがとうございました

池垣クリニック	いでクリニック	黒田医院
近藤内科医院	塩屋王子クリニック	しもかどクリニック
てい小児科	中嶋医院	なかむらクリニック
にしかけ内科クリニック	深水内科医院	星島整形外科・リハビリテーション
まつしまクリニック	山岡医院	やまぐちクリニック
山田医院		



(順不同、敬称略)



内科 3件、循環器科 13件、小児科 75件、外科 3件
整形外科 39件、脳外科 3件、泌尿器科 7件、救急科 5件
合計 148件

【講習会のお知らせ】

日時 : 平成28年11月10日(木) 17:30~18:30
場所 : 神戸掖済会病院 3階講義室
講師 : 協和発酵キリン(株) 中村達矢先生
演題 : 「KYT(危険予知トレーニング)」について
対象 : 院内外の医療従事者

【勉強会のお知らせ】

日時 : 平成28年11月25日(金) 18:00~19:00
場所 : 神戸掖済会病院 3階講義室
講師 : 神戸掖済会病院 感染管理認定看護師 田口菊久子
演題 : 「その手、綺麗?」
適切なタイミングで手指衛生を行うこと、感染防止対策を知り、ご自分や周囲の人々を感染症から守りましょう
対象 : 院内外の医療従事者

【お問い合わせ】神戸掖済会病院 地域医療連携室 078-781-1411